

2008年3月期 決算報告
及び
2009年3月期 業績見通

2008年5月13日
株式会社ビーマップ
代表取締役社長 杉野 文則



本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなされるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。

本資料に対するお問い合わせ

株式会社ビーマップ
〒112-0001 東京都文京区白山5-1-3 東京富山会館ビル7F
経営企画部 IR担当（大谷、和田）

2008年3月期決算説明



1) 連結

単位:百万円

	2008年3月期	2007年3月期	増減	前期比
売上高	1,007	960	+47	+4.8%
経常利益	▲243	▲98	▲145	-
純利益	▲422	▲360	▲62	-

2) 単体

単位:百万円

	2008年3月期	2007年3月期	増減	前期比
売上高	740	805	▲65	▲8.0%
経常利益	▲111	9	▲120	-
純利益	▲386	▲243	▲143	-

1) 連結決算

- ・売上高は、子会社における上半期の不振、当社新規事業の不振により当期は1,007百万円に留まる。
- ・営業利益は、売上未達を吸収できず、236百万円の赤字。
- ・経常利益は、243百万円の赤字。
- ・最終損益は、株式その他資産に関する特損184百万円等により、422百万円の赤字。

2) 単独決算

- ・売上高は、8.0%減収の740百万円。
- ・営業利益は、114百万円の赤字、経常利益は、111百万円の赤字。
- ・最終損益は、特損278百万円等により、386百万円の赤字。

3) モバイル事業分野

- ・無線LAN関連は売上減も営業利益確保。交通関連・位置情報関連は売上未達により赤字化。

4) ソリューション事業分野

- ・遠隔監視事業(モニタリング倶楽部)が、大口顧客の事業計画見直しで売上減・営業赤字に。
- ・メタデータが3年目で営業黒字化。
- ・新規事業スターセレクションは、投資対効果が得られず苦戦(赤字の大部分を計上)。
- ・FMSCが上期不振、第4四半期で大幅に持ち直すが年間では未達。

5) その他

- ・メタデータの大型案件が具体化。H21.3期2Qの事業化準備へ。

1) メタデータ事業の黒字化

通信事業者、テレビ局、広告代理店などへの展開により、営業黒字化。新年度も成長見込み。

2) 新規事業の不振

2007.8よりタレント物販事業を開始するも、投資に見合う収益を得られず苦戦。
2009.3期はビジネスモデル変更。

3) 有価証券・その他資産の特損計上

子会社その他出資先の有価証券について減損処理を実施。
その他ソフトウェア等についても保守的な観点から減損処理を実施。

4) リストラの開始

2007.6株主総会にて取締役員数減、業績連動報酬により、取締役報酬削減。
事業の集中と選択、固定費削減のための組織・人員見直しを開始。

5) 継続疑義の注記記載

2008.3期決算(連結・個別)において、継続企業の前提に関する注記を記載。
経営改善計画を策定・実施し、来期以降の健全化をはかる。

- 1) モバイル事業分野
- 2) ソリューション事業分野
- 3) 新規事業分野
- 4) 子会社株式ののれん償却について
- 5) 特別損失の計上について

- ①交通関連事業は、ほぼ前年並みの実績を確保。基礎開発の減損。
今後の課題としては、深耕を含む事業の拡大。
- ②位置情報関連事業は、ライセンス商談が不調。
法人向けカスタマイズは順調。
- ③無線LAN関連事業は、前期からの継続案件を含め順調。

サービス	内容	活動	対計画比
交通関連事業 「JRTラベルナビゲータ」	株式会社ジェイアール東日本企画 向け時刻・乗り換え案内システム等 の提供	<ul style="list-style-type: none"> ■携帯電話向けサービスの開発、インターネット 予約サイトの開発。 	△
位置情報関連事業 「b-Walker」	位置情報モバイルサービス	<ul style="list-style-type: none"> ■PND(Personal Navigation Device)製品へのラ イセンス提供に重点を置いた提案・拡販活動 ■マイタック・インターナショナル社、YUPITERU へライセンス提供 ■法人向けシステム提案 	×
無線LAN関連事業 「Air Compass」	無線LANのコンテンツ配信システム	<ul style="list-style-type: none"> ■エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株 式会社との協力体制のもと、共同で複数の通信 事業者へ提供 ■当初計画通りに堅調に推移 	◎

◎・・・計画を上回る、○・・・計画どおり、△・・・計画を若干下回る、×・・・計画未達成

- ① モニタリング倶楽部は、一部顧客の事業計画変更により、当初予定を下回る。その他の案件については順調。
- ② Webモバイルは、新規顧客の確保が不調。事業の集中により、売上・利益は大幅縮小。
- ③ メタ・データ事業は、本格的に立ち上がりを見せた。第4四半期は、特に順調で、今期は順調なスタートが期待できる。

サービス	内容	活動	対計画比
遠隔監視事業 「モニタリング倶楽部」	インターネットを使った画像閲覧サービス	■ 外食産業や駐車場などASP機能の追加により、営業活動を強化	△
Webモバイル	Webシステム・携帯サイト構築に関するソリューション	■ 既存事業の保守。	×
メタ・データ	TV放送内容をテキスト化するサービス	■ TV局、広告代理店、シンクタンク、通販サイトなど、様々な事業会社へ提供 ■ ハードメーカー、通信事業者へASP事業。	◎

◎・・・計画を上回る、○・・・計画どおり、△・・・計画を若干下回る、×・・・計画未達成

①特命プロジェクトは、商品の売れ筋にばらつきがあり、不良在庫が発生した。
また、事業立ち上げに伴う人件費が増大した。

サービス	内容	活動	対計画比
特命プロジェクト スターセレクション	スターが選んだ、一押し商品の販売	<ul style="list-style-type: none"> ■「Yahoo! JAPAN」でのショッピングサイト ■テレビ番組連動サイトの構築。 	×

テレビ番組の放送内容をデータベース化 ⇒ テレビ情報検索サービス「MetaTV」

テレビから発信される膨大な情報を即座に検索できる、世界で唯一のサービスを提供



検索

局名	放送日時	番組名	ヘッドライン	時間	再生
TBS	2006/11/08 18:08	イブニング・ファイブ	安倍首相・党首討論	00:02:44	再生
安倍首相が、自民党・中川政調会長らの格別有識者発言を承認する考えを示した。民主党・小沢一郎代表、安倍首相の国会発言。民主党・高木 雅明副委員長の会見。 タイムコード:18:08:23 - 18:11:07					
NHK	2006/11/08 19:17	ニュース7	安倍首相・党首討論		
安倍首相が、自民党・中川政調会長らの格別有識者発言を承認する考えを示した。安倍首相、民主党・小沢代表の国会発言。 タイムコード:19:17:40 - 19:19:54					
TBS	2006/11/08 17:40	イブニング・ファイブ	自民党・小泉純一郎前首相・日本夢づくり連場で議 案	00:06:42	再生
衆参1回生議員の研修会「日本夢づくり連場」で講演を行った。「使い捨ては当たり前。それが嫌なら国会議員にならないほうがいい。向上心を持ってがんばっていただきたい」と機を飛ばした。自民党・杉村太朗議員、自民党・井筒ノブ子議員、自民党・広津孝子議員、自民党・片山虎之助参 院幹事長、参事朝元首相、安倍首相、自民党・小野次郎議員、前衆議院議員・城内美氏、自民党・中川秀道幹事長のコメント。 タイムコード:17:40:40 - 17:47:22					

シーン再生

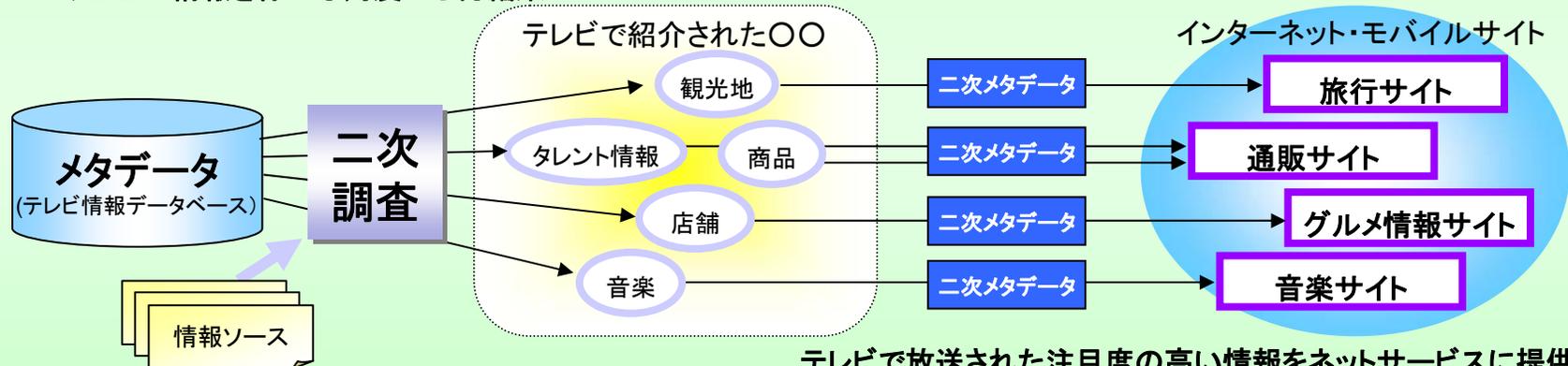


企業内の録画サーバ

テレビの情報を再編集し提供 ⇒ ネットとテレビの融合を加速させる「二次メタデータ」

さらに、検索結果から、企業内の録画サーバに録画した映像の見たいシーンを即座に再生

テレビの情報を様々な角度から再編集



テレビで放送された注目度の高い情報をネットサービスに提供

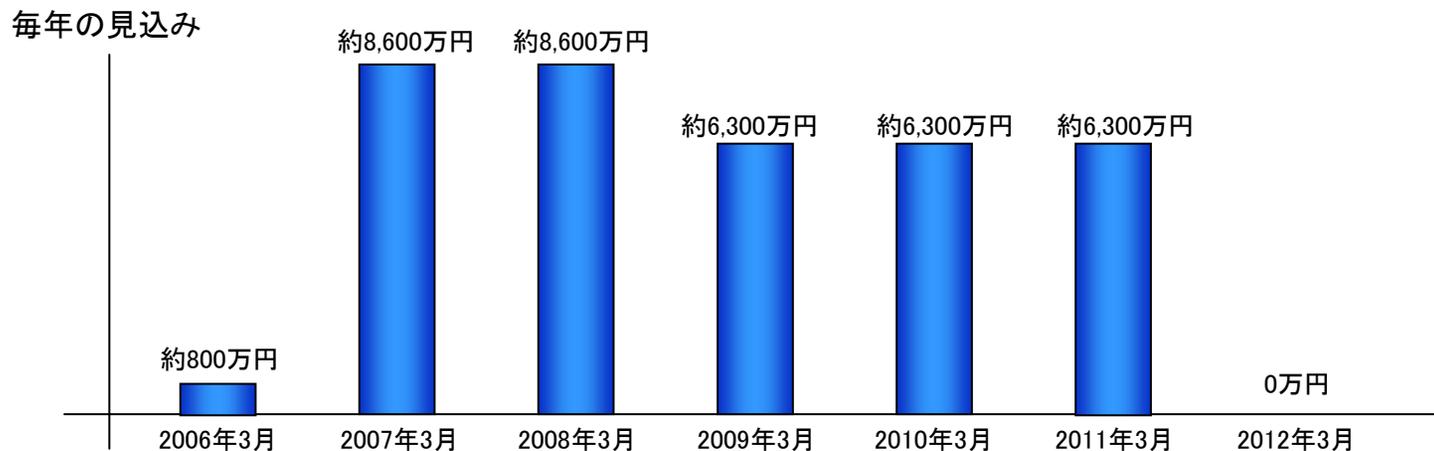
以下の子会社を取得価額と総資産額(取得時)の差額をのれん代として5年均等償却

会社名	期間	償却額	合計
FMSC (フォーマイスターズ・システムコンサルティング)	2007年3月期～2011年3月期	毎年 約6,300万円	約3億1,500万円

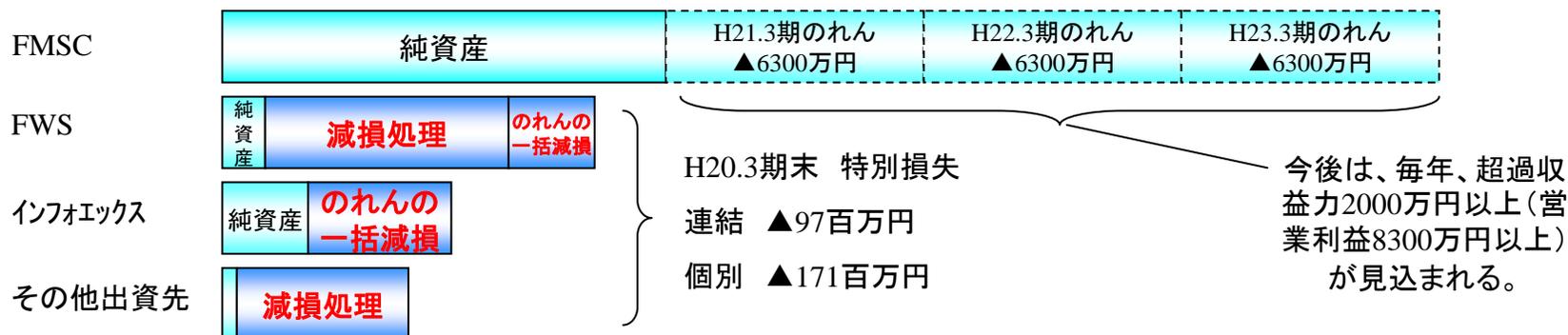
※原則として、FMSC社の営業利益により吸収できる超過収益を確保できるものと想定しております。

※前期まで毎年償却しておりましたフレームワークスタジオ社(約800万円)・インフォエックス社(約1,500万円)については、今後ののれん償却は発生いたしません。

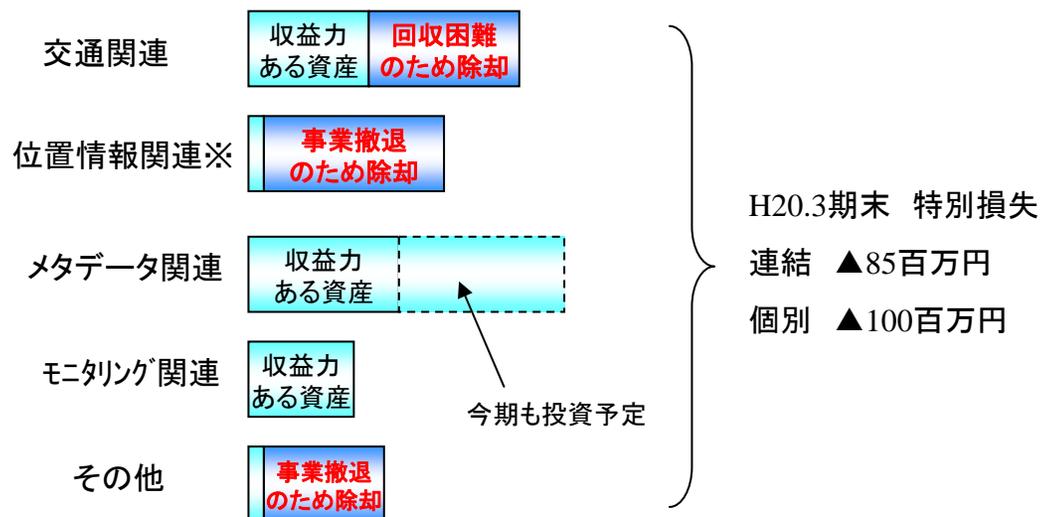
(2008年5月9日発表)



有価証券： 各社の財務状況と今期以降の見通しに応じて見直し。



その他資産： 今期以降の収益力、リストラの状況に応じて見直し。 成長分野には重点投資。



※ 収益力の高いプロジェクトについては継続して取り組みます。

課題		対応策
1	代表取締役等への権限・業務集中による機能不全・スピード低下。	権限委譲と人材育成。相互牽制システム。
2	企業方針、中期経営計画が実行レベルに落とされていない。様々な事業分野に都度分散投資。	「送客」「クロスメディア」という立ち位置から当社の事業・プロジェクトを取捨選択。
3	製造原価に占める外部流出費用(外注費+材料費)が約3.4億円と依然として高額。	内製化推進と並行して、内製化が困難なものについては、より高収益なASPなどの事業モデルへの移行を進める。
4	固定費のうち、労務費が約3.2億円。	組織のスリム化とチェック体制の整備により、適正な人員配分を随時実施。来期は2.8億円まで削減。
5	会社規模に照らし、事業(7)・プロジェクト(60以上)とも多く、審査・予実管理が不十分。不採算プロジェクトが漫然と継続される。	審査・予実管理ルール・体制を整備。退場ルール整備。
6	これまでの新規事業、投資の失敗の経験が生かされていない。	新規事業に関する審査・検討ルールの明確化。
7	累損の蓄積。	<中長期の課題>

2009年3月期 業績見通し



1) 連結

単位:百万円

	2009年3月期予想	2008年3月期	増減	前期比
売上高	1,261	1,007	+254	+25.2%
経常利益	10	▲243	+253	-
純利益	16	▲422	+438	-

2) 連結中間

単位:百万円

	2008年9月中間期予想	2007年9月中間期	増減	前期比
売上高	523	451	+72	+15.9%
経常利益	▲91	▲182	+91	-
純利益	▲94	▲173	+79	-

3) 単体

単位:百万円

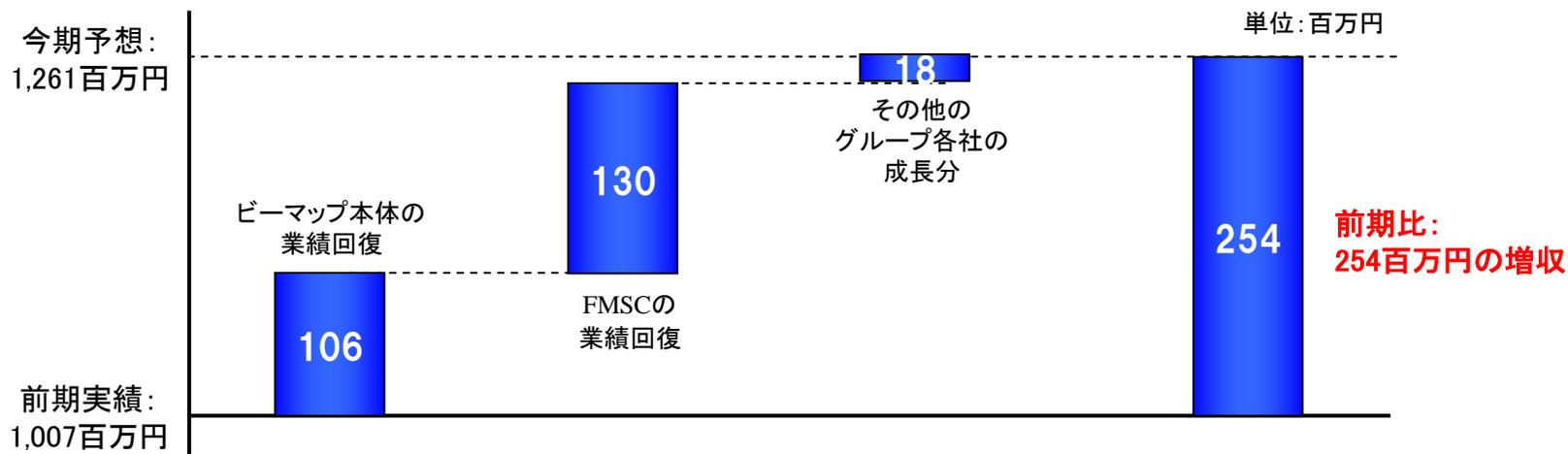
	2009年3月期予想	2008年3月期	増減	前期比
売上高	846	740	+106	+14.3%
経常利益	22	▲111	+133	-
純利益	28	▲386	+414	-

4) 単体中間

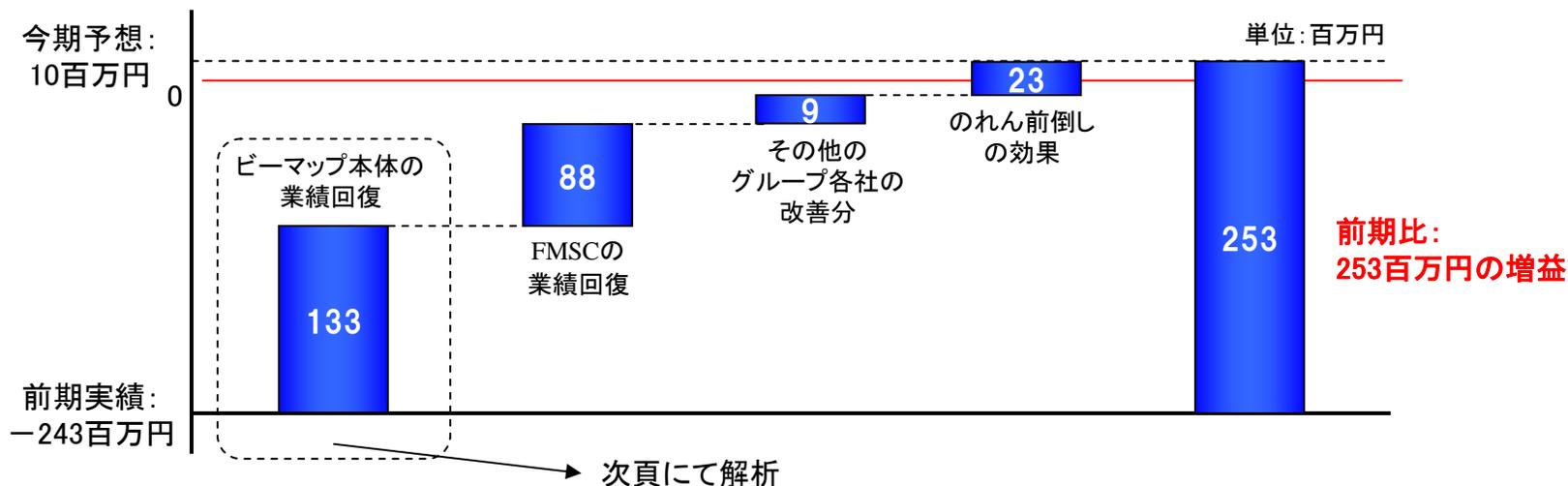
単位:百万円

	2008年9月中間期予想	2007年9月中間期	増減	前期比
売上高	339	340	▲1	▲0.2%
経常利益	▲70	▲83	+13	-
純利益	▲73	▲80	+7	-

1) 連結売上高増加要因

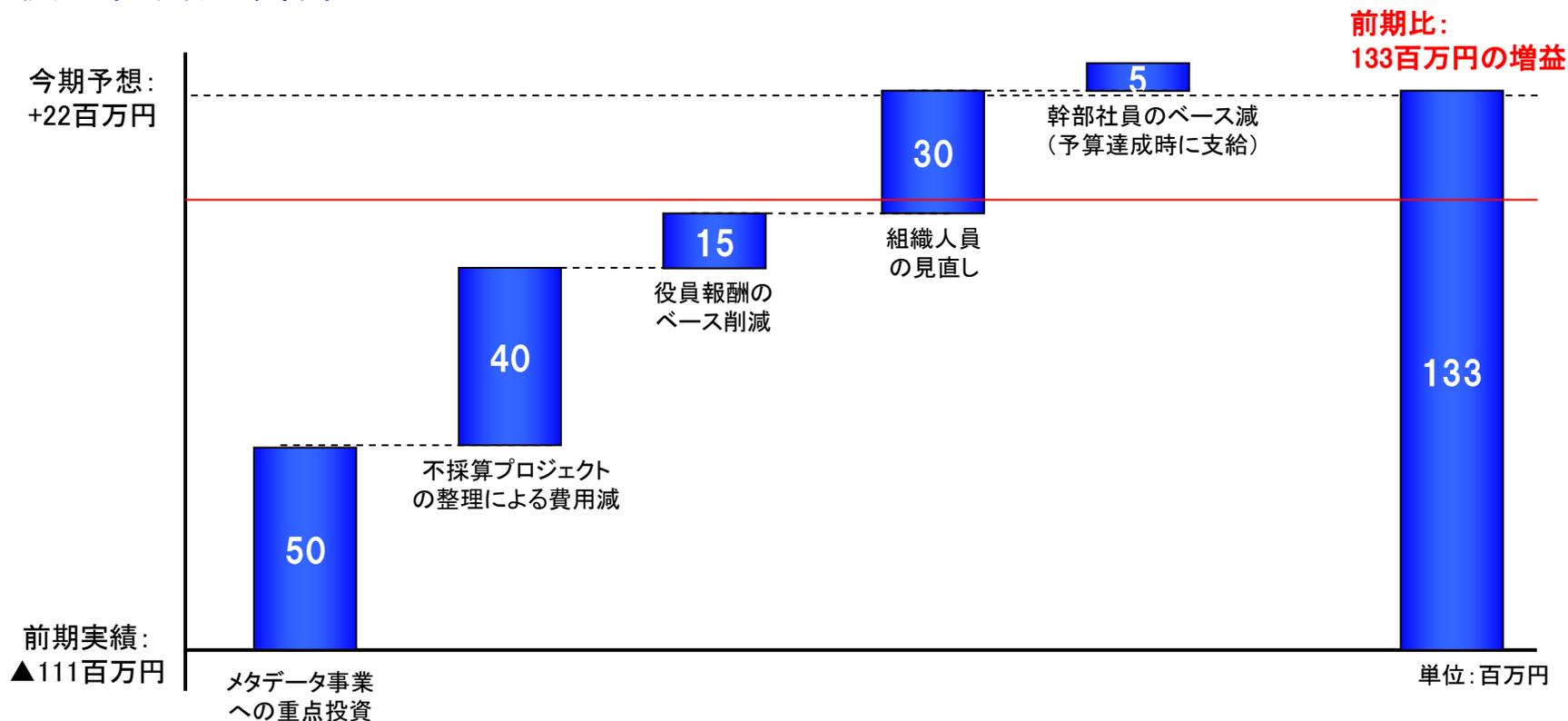


2) 連結経常利益増加要因



ビーマップ本体の経営改善策(骨子)

<個別 経常利益改善策>



1) 連結決算

- ・ビーマップ本体の経営改善策実施。
- ・前上期不調だったフォーマイスターズ・システムコンサルティングが本来の成長路線に復帰。
- ・持分法対象エムデータの黒字化(見込み)。

2) 単独決算

2-1 モバイル事業分野

- ・交通関連事業は、JR東日本企画との既存事業展開に加え、収益基盤の強化。
- ・位置情報関連事業は、収益性の高い法人ビジネスなどへの転換。
- ・無線LAN関連事業は、新技術への対応などを推進。

2-2 ソリューション事業分野

- ・遠隔監視事業(モニタリング倶楽部)は、営業力の強化を引き続き推進。
- ・メタデータ事業は、二次データ提供の拡販・大手事業者への提供開始により収益安定化へ。

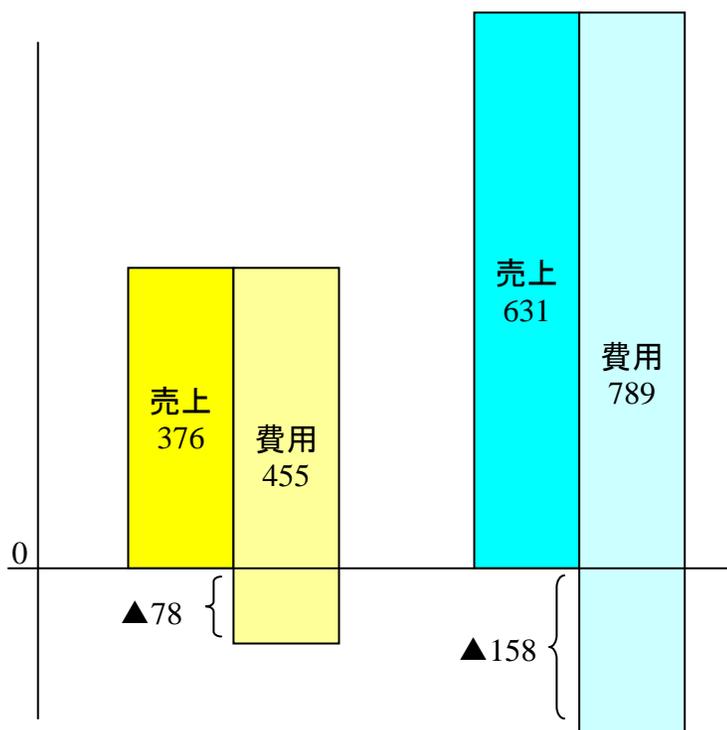
2-3 その他

- ・グループを通じた経営改革により、費用・販管費の圧縮を推進。

2008.3期

モバイル事業

ソリューション事業



2009.3期見込み

モバイル事業

ソリューション事業

